

補正予算

平成26年度の当初予算は、78億3,500万円で編成しました。以後、3月までの間に10回の補正予算を編成し、執行してきました。

当年度の下半期では、新規事業として、福祉保健センター空調設備改修工事、唐船城公園駐車場トイレ整備、山辺田遺跡発掘調査、文化体育館改修調査、地域住民生活等緊急支援対策費などを追加し、私立保育園支援事業(入所委託費)、農地農業用施設災害復旧事業、障害福祉サービス事業、国民健康保険事業などを増額補正し、事業を実施しました。また、中期的な事業計画に基づき、有田焼創業400年祭基金、減債基金などを積み立てながら、将来負担の軽減を図るための町債の繰上償還などを行った結果、補正規模は16億1782万4,000円になりました。

【平成26年度の一般会計補正予算の経緯】

(単位:千円)

時期	補正号数	補正規模	主な補正内容
3月定例	1号	1,301	町長・町議会選挙事業の増額
6月定例	2号	533,939	身近なユニバーサルデザイン推進事業、有田町“新生”まちづくり事業、地域経済活性化・雇用創出対策費(観光公園駐車場整備事業、防火水槽設置事業)、保育緊急確保事業(認定こども園事業ほか)、県単さが農業農村振興整備事業、伝統的工芸品全国大会費、社会資本整備総合交付金事業(尾ノ上下迎原線、小溝原穂波ノ尾線ほか)、県道原宿広瀬線改良事業、史跡等買上事業などの追加ほか
6月定例	3号	1,295	敬老祝事業の増額
7月専決	4号	25,000	廃棄物運搬車両購入事業の追加
9月定例	5号	762,923	地域活性化・効果実感対策費(有田小学校改築事業、町道老朽化対策事業、町立保育園新築事業)、農林地崩壊防止事業の追加、防災備蓄品の購入費、観光公園駐車場整備事業(工事請負費)、感染症対策事業(水痘・高齢者肺炎球菌予防接種委託料)、消防団員の安全装備品購入、幼稚園就園奨励費、公共下水道事業会計補助金などの増
11月専決	6号	28,970	歳出面で、衆議院議員総選挙事業、佐賀県知事選挙事業の追加、歳入面で、県支出金を増額
12月定例	7号	212,719	歳出面で、福祉保健センター事業(空調設備改修工事)、観光公園事業(唐船城公園駐車場トイレ整備)、山辺田遺跡発掘調査事業などの追加、私立保育園支援事業(入所委託費)、農地農業用施設災害復旧事業、減債基金積立金などの増額、歳入面で国県支出金、諸収入、地方債などを増額
2月専決	8号	5,581	歳出面で、文化体育館改修事業(調査委託料)の追加、歳入面で、財政調整基金からの繰入金を増額
3月定例	9号	35,561	歳出面で、地域住民生活等緊急支援対策費(消費喚起プレミアム付商品券発行事業、高齢者ふれあい入浴利用券交付事業、新たな「有田ファン」拡大事業、窯業の担い手育成支援事業、地方版総合戦略策定事業、内山地区サテライトオフィス運営事業、空き家流通促進事業)、有田焼創業400年祭基金積立金などを追加、障害福祉サービス事業、国民健康保険事業、伊万里・有田消防組合事業、長期債元金の繰上償還などの増額、歳入面で、町税、地方交付税、国庫支出金、繰入金(財政調整基金、減債基金など)などを増額
3月専決	10号	10,535	歳出面で、ふるさと納税推進事業(ふるさと応援基金・有田焼400年祭基金積立金)、減債基金積立金の増額、歳入面で、配当割交付金、地方交付税などを増額
計		1,617,824	

※「定例」は定例町議会、「専決」は専決処分によることを示しています。